

(公社) いわき青年会議所 副理事長 意見書 (案)

副理事長 佐藤 岩二郎

1 ここ、いわきの地に J C が設立されてから 5 0 数年経ちますが、「明るい豊かな社会を築
2 き上げる」という我々の目的は、今もなお変わることはありません。市民が社会において
3 幸福を感じながら生活していくためには、そのまちの環境を整えることが不可欠です。今
4 後の人口減少社会を踏まえ、次世代の市民に対してより良い社会を引き継ぐためには、長
5 期的な視点を持った、たくましいまちを創る運動に取り組んでいかなければなりません。

6 まずは、いわき市が抱えている問題に対して我々と市民とが、共通の認識と危機感を持
7 つ必要があると、あらためて思います。国策として地方創生が昨今謳われていますが、地
8 域間競争を勝ち抜かなければならないことは、13年前の5 J C の統合当時に見据えてい
9 た課題と同じです。広域合併都市であるこのいわきには、多くの素晴らしい自然や地域の
10 たからに恵まれています。多様性をもった様々な要素がバラバラに点在し、オールいわ
11 きのベクトルに向かっては生かされておらず、何でも揃うが顔のないまちとなっているこ
12 とは、合併から50年を経ても変わらない問題です。また、震災後新たに発生した問題も
13 あります。いわきに住む全ての人々がその問題や、広域的な都市間の連携の重要性を認識
14 して共有することも必要です。市民一人ひとりの故郷に対する意識を向上させ、このまち
15 を愛し、そしてその良さを自ら発信できるようにする。そのためには、このまちが持つ独自
16 性を生かしながら、いわき市を他のまちに負けない魅力あるまちとなるよう、その環境を
17 整備していくための運動を、多くの方々と連携しながら展開していかなければなりません。

18 私たちのまちは、時代の荒波に揉まれながらも、変化を受け入れ発展を図ってきました。
19 現状を確かに見定めながらも、近視眼になることなく未来を見据えた心が通う J C 運動を
20 通じて、次世代の市民に託すことができる、たくましいまち「いわき」が創造されます。

21

22